

2014年(平成26年)9月15日(月曜日)

市民や学生らが

食の安全を考える。

日進で集会

食の安全性について理解を深めてもらう「食の安全・安心タウンミーティング」が、日進市の名古屋学芸大で開かれ、市民や学生ら約百四十人が参加した。

瀬戸保健所が同大健康・栄養研究所との共催で毎年開き、四回目。食品表示の制度が変わるのを前に、消費者庁の担当者が現状や今後の予定などを説明。保存料メーカーの上野製薬(大阪府)の担当者が、食品添加物の役割や安全性について話した。

その後、新たな食品表示の制度などについて、同大の岸本満教授の司会で、保健所と消費者庁の担当者らが意見を交換した。写真。

